

平成 20 年度 第 2 回
清瀬市保健福祉総合計画策定委員会「健康増進専門部会」議事録（要録）

日 時：平成 20 年 6 月 23 日（月） 午後 13 時～

場 所：清瀬市健康センター 研修室

* 配布資料

資料 1 「計画の構成イメージと人口動態等」

資料 2 「アンケート概要」

資料 3 「事業実績関係のグラフ」

1. はじめに

・事務局より開会あいさつと配布資料等の確認及び事務局員紹介

2. 議事内容

(1) 第 1 回本委員会及び健康増進専門部会の議事録（要録）について

座長：では始めます。第 1 回本委員会、健康増進専門部会の議事録（要録）に関して、何かご意見等ありますか。では、ないようですので（2）に入ります。

(2) 計画の構成イメージ

事務局：資料 1 に基づき説明実施

座長：皆さん、何かご質問はありますか。私から聞きたいことがあります。5 ページの計画の期間について、平成 21 年から始めて平成 29 年という 9 年しかありませんが、10 年計画とある、これはどういうことですか。

事務局：大変失礼いたしました。初年度が平成 20 年度となります。これを含め 10 年となります。

座長：中間評価は平成 24 年度で、母子保健計画の最初の年度と合うわけですか。

事務局：合います。ただし、保健福祉総合計画は 7 年計画ですので、それとの整合性はなくなります。

座長：分かりました。ほかによろしいですか。ありましたらまた後でご意見をお願いします。

(3) 人口動態等

事務局：人口動態（資料 1）について説明実施

座長：ご質問はありますか。2003 年から 2004 年にかけて、すごく人口が増えています。その理由は。また、4 年で見ると 3 年で見ると変わると思いますが、これはどんな資料ですか。

事務局：清瀬では大きな病院であった東京都職員共済病院がなくなり、その跡地が戸建て住宅になりました。また、東京病院前の三菱総合グラウンドの跡地に

は大きいマンションと戸建て住宅が建設されました。これが人口増の大きな要因です。

委員：外部からの転入ですか。

事務局：そうです。

委員：これは人口動態で見ると、少し不自然なのですが、むしろこの3年ぐらいからが本来の動き、予測がより近いのではという気がするのですが。

事務局：ご指摘のとおりです。将来の見通しとしては、これからの清瀬市のまちづくりのなかで社会増をどのように見込むかということになります。

座長：ありがとうございました。それでは次の説明に移らせていただきます。

(3) 清瀬市の保健事業の実績

事務局：資料3に基づき説明実施

座長：ありがとうございました。ご質問、議論をしたいと思います。

委員：歯科の実績データについてなのですが、8ページにあるように、保健関係の事業が多く、これを比べると成人の保健事業が2つぐらいしかなく、少し成人の方が少ないかなと思います。

事務局：歯科衛生士は嘱託で、歯科衛生士は平成9年の東京都からの母子保健事業移管による3歳児健診、それから乳幼児歯科健診事業を中心に行うために配属されました。本日も乳幼児歯科健診を行っており歯科衛生士が来られません。歯科については、健康増進法により今後、高齢者や成人の方々への取り組みを考えていきたい、進めていかなければいけないと思っています。

委員：データで急激にアップしたり、急激にダウンしたりが非常に多いです。その理由を解決することによって、我々が見出す方向性、項目が出てくるのではないかという気がします。例えば、1ページの胃がん、これは参加者が受診している状態です。2番目もばらつきが大きいです。平成16年度は回数が50回です。この理由で、今後の対応ができると思います。また、歯の健康は遅れ気味ですが、腰痛予防が、平成16年度の参加者が42名で、前回から比較すると5分の1に減っており、この辺りのところを細かく分析していただく必要があるのではないかと思います。3ページでの実施回数が大幅に増えたことは、市役所の内部で何らかの対応があり、逆に減ったことの原因については何かのデータがほしいと思います。

座長：最近2～3年の大きな変動については、制度の変更等の部分もあると思います。分かるようにしていただけると、委員のおっしゃるように、我々の手掛かりになると思います。

事務局：がんのところの17ページですが、平成19年は1,094人の間違いです。お詫びし訂正いたします。

座長：そのほかにありますか。

委員：健康手帳を配布する時に、健康手帳を持っている方も次にもらう形だと、だいたい5年ぐらい使えたと思うのですが、その都度渡すと重複してもらっている方が多いのではないかと思います。なくなったらいただく形が、お金も掛からないのではないかと思います。どんな検査でも、2年に1回は必ずリピーターと初診者の記録があるといいと思います。今年は何人が初診というデータがあるといいと思います。

1歳6カ月の健診に比べ、3歳児でむし歯の子供が多いです。親の口の中にある菌が子供に移って、子供が虫歯になることを歯医者から聞きます。親が自分のペットボトルの飲料を飲んだり、食事を箸で子供にと、むし歯菌を子供に移すことが多いのです。今後の健康推進委員の中で、研修などがあれば数字が減るのではないかと思います。

委員：広報はどのような形でやられていますか。

事務局：基本的には市報ですが、各事業のリーフレットやチラシの作成配布や事業展開の時に事業紹介等をしています。なお、子宮がん・乳がんの検診率は近隣5市のなかで一番低く、死亡率も一番高いことを説明しましたが、市議会でも検診率の低さがテーマになっています。ほかの部署、例えば、男女共同参画センターも健康関係の講演等を行っていますので、そちらと連携したり、細やかな周知活動などの事業展開を行うため準備しているところです。

委員：問題は市民の方が知っているかどうかです。

事務局：毎号のように市報に掲載しているのですが・・・。

委員：市報は読みますが、市民の立場としては、電話で申し込むと書いてあり、40人と書いていて、みんなが電話をしていると思ってしまいます。子宮がんは暮れの忙しい時に申し込んで、往復はがき等、結構手順を踏まなければならないです。今は隔年になっていることを知らなかったのですが、手間が掛かるので減っていると思います。

委員：乳がん健診や子供のむし歯に対しても、市役所の募集に頼るのではなく、自らそのようなものに関心を高めることが一番必要だと思います。

乳がん健診などは、清瀬は2,000円ですし、東村山や小平、西東京は1,000円です。人数も限られていますが、市の健診に頼るのではなく、市民の意識を高めることが一番大切だと思います。具合が悪かったら自分で即病院へ行くことが大切だと思います。市の健診にすぎるのではなく、市民がもっと意識を高めるような運動をした方がいいと思います。

また、市役所の健康センターに通うことが不便です。分散してできればいろいろなことに参加する人数が多くなるのではと思います。

子供のびのびセンターで、乳児の歯の受診をする時に大変だという話を聞きました。早くから行って順番を取り番号順にという話があり、アンケートの中で考慮してほしいです。

座長：たばこはどこに。

事務局：禁煙対策事業は健康推進課の所管ですが未着手です。リーフレットは2～3配布しておりますが、禁煙対策事業のためにドクターを呼んで講演するまでには至っていません。これからの事業展開で方策を考えたいと思います。

委員：15ページで、要医療や要指導、多いのか、少ないのか、素人には理解できない。1つ提案ですが、他の多摩地区の市と比較するという方法があります。比較することで総論的に地域性の把握ができればと思います。年度を決めて、これは今年度と来年度で最重点、翌年はこれをするという形で比較をすることが理解しやすいのではと思いました。

事務局：近隣市との比較は、保健所のデータがありますので提示いたします。また、目標については、重点目標等を定めながら各目標値を決めていきたいと思えます。

座長：先に進めさせていただきます。

3．アンケート項目の概要報告

事務局：健康増進関係アンケートについて資料2に基づき説明実施

座長：これはもう調査に入っているのですか。調査日は確定しているのですか。

事務局：いえ、まだです。このようなことも調べたらという提案があれば、2～3日中に、事務局までご提示をいただければと思います。内容については8割方確定だと思っていただければと思います。

座長：他に何かありますか。

委員：対象は59歳までですか、項目は64歳となっています。

事務局：失礼しました、対象は20歳から64歳です。

委員：これ以外（65歳以上）はどうなるのでしょうか。

事務局：高齢者の保健福祉計画（介護保険計画）のアンケート対象は65歳以上の方がメインとなっています。そこに健康分野のアンケートを加えて実施したいと考えております。

委員：2ページの問2の8番の、地域名が野尻になっているのを、野塩に。

事務局：申し訳ございません、野尻湖の野尻ではなくて、野塩です。訂正します。

座長：問9、問10での一日の過ごし方について、朝から夕方まで勤務、半日の勤務が多い、深夜業に従事、日勤も深夜業もある、ここで複数丸をつけられると、あとで解釈に困るのではないですか。同じようなことが問10でもあります。ここは整理した方がいいと思います。

事務局：ありがとうございます。意見にそって訂正します。他に何か気付いた点があれば、ご意見をいただければと思います。

委員：あなたは最近（1年以内）に体脂肪率を測ったことがありますかと書いています、体脂肪率というものが5年後に中間評価される時にもう1回あったら、比較ができて面白いと思います。先生がお話しになった問9、問10の項目は読んでいて少しあれ（整理が必要）かなと思います。

事務局：これも実は内部で、もう少し分かりやすくしようと検討中です。

座長：今日の委員の中で、体脂肪率を測ったことがある方はいらっしゃいますか。

委員：体重について毎日や、週に1回とかを聞く方がいいような気がします。質問自体は難しくない、何年か経って同じような設問があれば面白いのではないかと。

座長：この体脂肪率を測るところが、メタボなどに関する関心のバロメーターをチェックができるわけですか。

事務局：はい。

座長：では、そのところを事務局にさせていただくことにしまして、今後の日程について事務局からお願いします。

4．専門部会の今後の日程

次回専門部会日程を決定：第2回専門部会は8月27日（水）に開催

<閉会>

以上